

（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開）

『精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究』
へのデータベース登録について

当院の『精神疾患における血液サンプルを用いた生物学的マーカーの探索研究』で将来の医学研究への試料提供にご同意いただいていた方々へ、このたび試料情報を国立精神・神経医療研究センターの『精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究』のデータベースに登録することになりましたので、お知らせいたします。

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

『精神疾患における血液サンプルを用いた生物学的マーカーの探索研究』において試料・情報を提供された方

【研究期間】

研究実施許可日(2013 年 12 月 12 日)より 2028 年 12 月 11 日まで

【利用を開始する予定日】

2025 年 12 月 11 日

【情報の管理に責任を有するもの】

近畿大学医学部

【研究責任者】 近畿大学医学部精神神経科学教室 柳雅也

【登録データベース】 国立精神・神経医療研究センター 代表研究者：橋本 亮太

「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」
データベースについての詳細 <https://byoutai.ncnp.go.jp/database/>

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

精神疾患は複雑な疾患であり、精神疾患の遺伝子研究が世界中で精力的におこなわれている現状にも関わらず、これまでのところ原因といえる決定的な遺伝子はみつかっていません。このため近年では、精神疾患のかかり

やすさにはある一つの遺伝子ではなく微弱な影響を持つ何百何千もの遺伝子が複雑に関わるとする考えのもと、数万人規模のサンプルを用いた研究がおこなわれるようになってきました。しかしこういった大規模なサンプルは一施設で集まるものではなく、研究遂行のためには多施設研究が欠かせません。そこでこのたび、当教室でおこなっている『精神疾患における血液サンプルを用いた生物学的マーカーの探索研究』は、国立精神・神経医療研究センターでおこなわれている『精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究』のデータベースに登録することになりました。このデータベース研究では、広く試料・情報を利活用する仕組みが構築されています。試料・情報提供依頼者からの依頼を国立精神・神経医療研究センターの利活用委員会が審査し、提供が承認され、依頼者の研究計画が倫理委員会にて承認されれば、試料・情報が研究実施機関に提供されます。研究期間は 2028 年 3 月 29 日までを予定されています。

このデータベース研究には、これまで近畿大学の『精神疾患における血液サンプルを用いた生物学的マーカーの探索研究』にご協力いただいた方々の血液サンプルを使わせていただく予定です。ただし、この研究にご参加いただいた方々の情報はすでに近畿大学で匿名化されていますので、国立精神・神経医療研究センターにはお名前など個人を特定できる情報は一切提供されません。『精神疾患における血液サンプルを用いた生物学的マーカーの探索研究』にご参加いただいた方で、もし、このたびの国立精神・神経医療研究センターデータベースへの登録にご賛同いただけない場合には、該当する血液サンプルは国立精神・神経医療研究センターに提供しません。その場合には、ご面倒をお掛けしますが下記のメールアドレスまでお知らせください。また、このデータベースへの登録についてご質問やご相談などおありの方は、下記のメールアドレスまでお問い合わせください。

○問い合わせ窓口

近畿大学医学部精神神経科学教室

〒590-0197 大阪府堺市南区三原台 1 丁 14 番 1 号

TEL. (072)288-7222

FAX. (072)298-1677

seisin@med.kindai.ac.jp